

東京女子医科大学拠点

世界産品創出のために医工融合Finisherを練成する新結合拠点整備事業

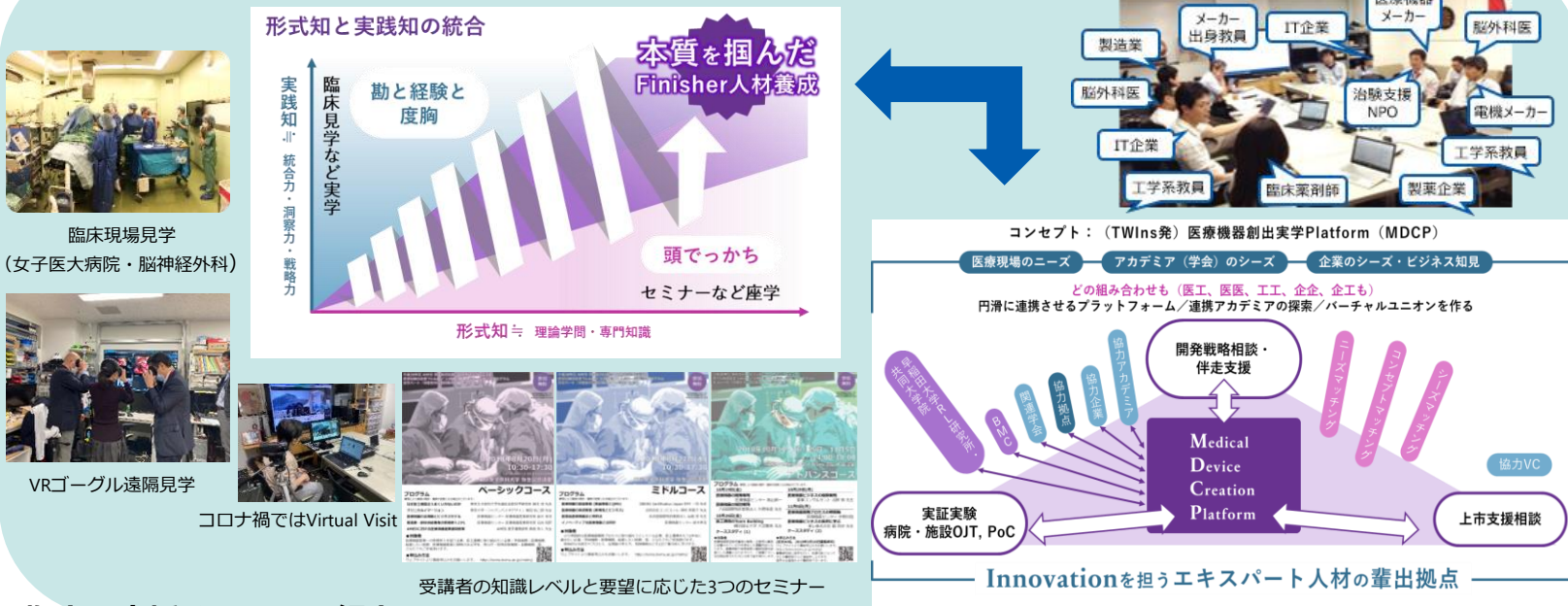
(<https://www.twmu.ac.jp/ABMES/nxmed/>)

拠点の特徴：形式知と実践知の統合による本質を掴んだ人材育成プラットフォーム醸成

- 特徴1 セミナー・シンポジウム：セミナーはベーシック、ミドル、アドバンスの3つのコースに分けて医療機器開発に係る諸課題を解説、シンポジウムは他採択機関と連携し、最新の研究開発動向等を紹介。
- 特徴2 手術見学・ニーズ収集：臨床現場として病院診療科の見学を実施。VRを導入、新連携拠点として介護老人保健施設・リハビリ施設・関連病院を追加。ニーズ収集プログラムを実施している。
- 特徴3 ものづくり工房：アイデアを迅速に形にするため、まち工場でものづくりのプロとして活躍している職人2名による工房で、企業・医師のものづくりの支援を実施。学外からも依頼を受ける。

拠点における取組の俯瞰図

医工融合・多様な人材ネットワークによる密な支援体制



事業実績

【臨床現場見学】
・人数 62人(4年間累計 545人)
・企業数 34社(4年間累計 185社)
【研修・助言・指導】
・人数 538人(4年間累計 2362人)
・企業数 334社(4年間累計 1836社)
【ニーズ】
・収集件数 0件(4年間累計 0件)
・共有実績 0件(4年間累計 19件)
【シンポジウム・セミナー】
・開催回数 5件(4年間累計 14件)
・人数 454人(4年間累計 2588人)
・企業数※ 332社(4年間累計 1451社)

※予想含む

拠点の支援メニューの紹介

セミナー

- ・医療機器開発に必要な知識を7つのテーマ(医工連携、医療ニーズ抽出、事業化戦略、ビジネス戦略、知財戦略、人材育成、薬事・保険戦略)に分けて解説
- ・アドバンスコースでは、クラスⅢ・Ⅳ医療機器に特化した内容に一新し、世界展開できる機器を利益に変換する人材育成を目指す

臨床現場見学

- ・病院10診療科、介護老人保健施設で現場見学環境の整備、他拠点も紹介
- ・医療現場ニーズと企業シーズ、その両方を理解できる接着剤の役割を担う人材により見学の支援。医工融合人材として医療機器開発を誘導
- ・東京都HUB機構イベントなどで参加者増

ものづくり工房・開発戦略相談

- ・大田区の職人スタッフ2名を工房スタッフとして採用し、3Dスキャナ・プリンタ・処理ソフトなど完備
- ・整形外科、形成外科や脳外科の術前・術中戦略システム開発を支援
- ・学内外への宣伝や利用説明会の定期開催により学外からの依頼もあり

拠点支援成果の実例

K社：現場ニーズ収集を経て開発した患部観察用カメラが医療機器として上市された。
S社：医療機器用無線給電システムがビジネスモデル、販促戦略の構築支援を経て事業化が開始された。
F社：現場課題を解決する画像処理AI機能を開発、製品導入を実現